

# 地域とともにある学校

魅力ある学校づくりを目指して

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 録磨する人間

2019/5/22 (水) 発行

校長通信 NO29  
北海道日高等学校  
町田英謙

## 新元号「令和」の始まり

史上最大のゴールデンウィーク10連休を終えました。生徒の殆どがそれぞれの地域に帰省しましたが、無事に全員が元気に学校生活をスタート出来何よりです。

さて、5月1日より新元号「令和」が始まりました。報道関係と今上天皇の退位、新天皇の即位を目の当たりにして、日本国民が新たな元号への思いをそれぞれ胸に秘めたのではないかと思います。

平成でのおよそ30年間、戦争がなく平和に過ごせた一方で、自然災害で多くの尊い命が失われたことは私たちの記憶に深く刻まれました。改めて命の大切さを感じ取り、日々の生き方や在り方を考えることが出来たのではないかと思います。

新たな元号の「令和」では、国民全体が幸せに過ごすことができる平和な社会を心から祈念したいと思います。

## 全道校長会総会・前期研究協議会の報告

5月8日(水)、9日(木)、ホテルライフオート札幌において、全道校長会が開催されました。全道の道立・市町村立・私立の校長が一堂に会し、道教委から様々な伝達事項が確認されました。

今年度の全道校長会では、北海道教育委員会の所管事項説明で、佐藤教育長をはじめ道教委の大黒柱である各局長から説明があり、それぞれの思いを直接受け取ることができました。

別紙の全道校長会研究協議会報告書に記載しましたが、大切な内容について抜粋して報告します。

### 北海道教育委員会教育長 佐藤嘉大 様

・校長先生におかれましては本道教育の充実・発展にご尽力いただき感謝申し上げます。

- ①高校の魅力化
    - ・新学習指導要領に基づき高校改革～教科横断的、教職員の資質能力向上
    - ・地域が求める高校とは? 意見を伺い、学校運営の推進
    - ・将来、その地域を支える人材の育成
  - ②特別支援教育の充実
    - ・昨年度、「通級」障がいのある生徒の学びを支える
    - ・関係機関との連携を図りながら
  - ③いじめ・不登校の対応
    - ・生徒の小さなサインを見逃さない SCの促進
    - ・関係機関との連携を図り、計画的に実践
    - ・小学校から異校種間で連携し、生徒の指導に役立てる
  - ④学校における働き方改革
    - ・現在ブラック企業～教職員希望者の減少 夢のある職場づくり
    - 北海道アクションプラン
      - ・1月通知した部活動の在り方 国との整合性を求めた 3年後完全実施
      - ・弾力的な運用⇒説明責任を果たす 段階的な改革
      - ・私立高校との不公平感を言っている場合ではない 関係機関との連携
  - ⑤信頼される学校づくり
    - ・不祥事防止 USB紛失、体罰、重大事案(飲酒運転、セクハラ行為等)
    - ・教職員一人ひとりの意識改革
    - ・全道の教育に対する信頼を失墜する
- 教育改革には、行政と現場の一体化が必要  
●文部科学省からの改革～本道の持続的な発展

## 学校教育局指導担当局長 赤間幸人 様

- ①教職員の資質能力向上について
- ②教育の情報化の推進について
- ③北海道部活動の在り方に関する方針等について
- ④生徒指導及び学校安全について
  - ア いじめの問題への対応
    - イ 自殺予防教育
    - ウ 安全教育の充実
    - エ 自転車の安全利用に向けた安全指導の徹底
- ⑤学校体育及び健康教育の充実について
  - ア 事故防止
  - イ オリンピック・パラリンピック教育
  - ウ 学校保健委員会の活性化
  - エ 学校における食育の推進
- ⑥特別支援学校に係る事項
  - ア 特別支援学校学習指導要領の改訂について
    - イ 個別の教育支援計画について
- ⑦高校教育に関する事項
  - ア 新学習指導要領に伴う移行措置等について
    - イ アクティブラーニング・スクラムについて
    - ウ グローバル人材の育成について
    - エ キャリア教育について

## 教育指導監 相馬哲也 様

新学習指導要領

- 育成する教育目標(資質能力)
- 学校教育目標を変える
- 総合的な探究の時間 ⇒ 目標に照らし合わせる
- PDCAサイクル ⇒ 年間で評価改善、半期等で評価改善
- 危機管理、教育の本質を見逃さない

## 適正配置計画会議の報告

5月10日(金)、日高合同庁舎4階講堂において、令和元年度第1回適正配置計画会議がおこなわれました。当日は、管内の町長をはじめ教育長、小中学校PTA会長や、小・中・高等学校長、報道関係者や傍聴者が参加されました。

今年度は、入学者定員数の減員が40名を超えた浦河高校(4間口⇒3間口)と、静内高校(5間口⇒4間口)が、来年度の募集定員が変更になりました。このことについて各関係者十数名から、道教委に対し要望や意見が多く出されました。これに対して北海道教育庁学校教育局高校配置担当局長 山本明敏 様より、様々な状況を鑑みて本庁に持ち帰り再度検討し、9月に開催される第2回適正配置計画において報告することで会議が終了しました。

## 管内PTA総会・研究協議会の報告

5月13日(月)、北海道浦河高等学校において、令和元年度のPTA総会が開催されました。

平成30年度の事業報告や決算、令和元年度の事業計画や予算について厳正に審議されました。

今年度は、全道大会が6月1日(土)、2日(日)に胆振と日高が当番地域として開催されることもあり、各学校ブースによる発表方法や予算執行について確認され、残り一ヶ月弱となった大会の詳細について確認しました。